



## 企業理念・100億宣言に向けた経営者メッセージ



代表取締役社長  
近藤 高行

## 自動車のあとしまつを通して日本、世界の環境に貢献する

自動車リサイクル事業に加え、独自開発したリサイクル事業者向け業務基幹システム「Kaiho Recyclers Allianceシステム」の開発でシステム利用料の収入を増やし、日本国内の自動車リユース部品の入札会事業の運営、リユース部品の越境ECサイト「ePartsWorld」と中古車のオンラインプラットフォーム「eCarsAuction」を運営し、全国の同業者とアライアンスを組んで、世界に中古自動車部品・中古車を輸出します。この日本のモデルを、インド、ケニア、UAEを始め世界中に展開することで、グローバルなサーキュラーエコノミーの実現に貢献する企業として、持続的な成長を目指します。



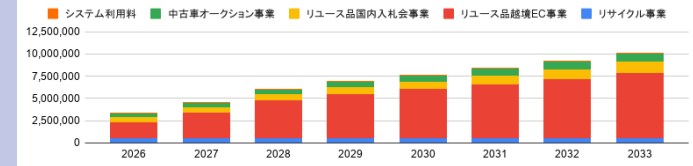
自動車解体重機

- 本社所在地：石川県金沢市
- 事業概要：自動車リサイクル
- 常時使用する従業員：100名  
(2025年12月時点)
- 現在の売上高：34億円  
(2025年12月期)
- 法人番号：8220001001728
- Web：https://kaihosangyo.jp/

## 売上高100億円実現の目標と課題

### 実現目標

2033年の売上高達成に向け、2028年までに市場開拓による年率30%成長を目指し、その後2033年までに年率10%成長を目指す。



### 課題

- ・海外新規顧客の開拓
- ・戦略的マーケット市場における物流倉庫の開設
- ・日本国内における出荷拠点の増設
- ・B to B / B to C 向け販売プラットフォームの機能拡充
- ・出品者向けの業務基幹システムのUI/UX改善
- ・インド/UAEなどリユース部品の調達拠点のボーダレス化

## 売上高100億円実現に向けた具体的措置

### 目指す成長手段

- ・リユース部品の市場規模が大きい重点国におけるマーケティング活動を実施し、越境ECサイトの認知を広げていくと同時に、現地での物流効率化のための倉庫拠点の開設、現地パートナーとの提携を行う。
- ・リユース部品の調達は日本全国に広がることから、輸出入荷拠点を北海道・東北・関西・九州エリアに開設し、輸送コストの低減をおこなう。
- ・日本で調達できないリユース部品の需要に応えるために、インド/UAEなど他国での調達拠点を強化する。

### 実施体制

- ・アライアンス事業部において、リサイクル事業者からの出品を促していくと同時に、海外顧客開拓とマーケティング活動を指揮するプロジェクトチームを立ち上げ、CRMツールを活用し効率的な営業活動を実施
- ・海外事業部が重点国における物流拠点の立ち上げに向けて、現地法人の設立もしくは現地パートナーとの業務提携を推進
- ・日本国内での出荷拠点の開設に向けて、同業者のリサイクル事業者と業務提携を行い、物流管理、出荷ノウハウを提供する
- ・現地法人における調達と出荷の人材採用を拡大

※本宣言は企業自身はその責任において売上高100億円を目指して、自社の取組を進める旨を宣言するものです